

新たな森林空間利用創出対策

【令和2年度予算概算決定額 121（85）百万円】

＜対策のポイント＞

地方の活性化に向けた「関係人口」の創出・拡大のため、**森林空間を多様な分野で活用する「森林サービス産業」の創出・推進の取組や、「日本美しの森お薦め国有林」の重点的な環境整備を行うとともに、緑化や森林・林業に対する国民理解の醸成を図るため、全国規模の緑化行事の開催を支援します。**

＜政策目標＞

- 新たに「森林サービス産業」の創出・推進に向けて取り組む地域数（30地域以上 [令和4年度まで]）
- 重点整備された「日本美しの森 お薦め国有林（レクリエーションの森）」の利用者数（50%以上増 [平成29～令和2年度まで]）

＜事業の内容＞

1. 「森林サービス産業」創出・推進に向けた活動支援事業 55（-）百万円

- 健康、観光、教育等の多様な分野で森林空間を活用して、新たな雇用と収入機会を生み出す**「森林サービス産業」の創出・推進の取組を支援します。**
 - ① 「森林サービス産業」モデル事業の実施
 - ② 「森林サービス産業」創出に向けた課題解決型研修会の実施
 - ③ 課題共有・解決のための効果分析・情報発信

2. 森林景観を活かした観光資源の整備事業 34（53）百万円

- 国有林のレクリエーションの森のうち、特に観光資源としての活用の推進が期待される93箇所を「日本美しの森 お薦め国有林」として選定しています。
- 「日本美しの森 お薦め国有林」において、利用者の増加を目的に、多言語による情報発信や歩道の整備などの、**重点的な環境整備**に取り組みます。

3. 全国規模の緑化運動の促進 32（32）百万円

- 國土緑化運動の中心的な役割を果たす全国植樹祭、全国育樹祭、みどりの感謝祭等の開催を通じて、緑化や森林・林業に対する国民の理解醸成を図ります。
 - ①全国植樹祭、全国育樹祭、みどりの感謝祭等の全国規模の緑化行事の開催
 - ②全国規模の緑化行事を効果的に行うための関連イベント等の実施

＜事業の流れ＞

定額

国



民間団体等

（1、3の事業）

（※2の事業は直轄で実施）

＜事業イメージ＞

「森林サービス産業」創出・推進に向けた活動支援事業

「森林サービス産業」の創出・推進に向けた取組の支援

モデル事業の実施

【内容】

民間企業等と地域協議会等が、「企業の健康経営」による森林空間利用を核とした「森林サービス産業」の創出・推進に向けた課題解決に取り組むための**モデル事業の実施**



課題解決型研修会の実施

【内容】

森林サービス産業創出に向けた長期戦略・構想の構築・共有の促進を目指した課題解決型研修会を開催



効果分析・情報発信

【内容】

- ・効果の検証、先行事例等の分析
- ・企業等のニーズ側への効果の発信
- ・山村等の供給側への具体的実施手段の共有



森林景観を活かした観光資源の整備事業

観光資源としての魅力向上に向けた取組

施設整備等の環境整備
(案内看板の多言語化、歩道の整備等)



案内看板の多言語化



歩道の整備（階段の設置）

全国規模の緑化運動の促進



国土緑化運動による国民理解の醸成

[お問い合わせ先] (1、3の事業) 林野庁森林利用課 (03-3502-0048)
(2の事業) 林野庁経営企画課 (03-6744-2323)